

表-7.1.6(1) 陸域生態系（カンムリワシ）に係る環境保全措置（その2）

実施主体	事業者	
方法及び実施の内容	・航空障害灯の設置に当たってはカンムリワシの繁殖期を避けて工事を行う。	
効果	・カンムリワシの繁殖期をさけることで、繁殖行動に及ぼす影響を回避できる。	
当該措置を講じた後の環境の状況の変化	・当該措置を講じた後の環境の状況には変化はない。	
効果の不確実性の程度	—	
実施に伴い生ずるおそれがある環境への影響	・実施に伴い生ずるおそれがある環境への影響はない。	
代償措置	環境影響を回避し、又は低減させることが困難である理由	—
	損なわれ又は創出される環境に関し、位置並びに環境要素の種類及び内容	—